

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	㈱岡田不動産鑑定事務所	
高山(県)-1	群馬県	第2	氏名	不動産鑑定士	岡田 忠彰
鑑定評価額	2,380,000 円		1㎡当たりの価格		7,200 円/㎡

1 基本的事項

(1)価格時点	令和6年7月1日	(4)鑑定評価日	令和6年7月9日	(6)路線価	[令和6年1月]	円/㎡
(2)実地調査日	令和6年4月16日	(5)価格の種類	正常価格		路線価又は倍率	1.1倍
(3)鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価					

2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

(1)基準地	所在及び地番並びに「住居表示」等		吾妻郡高山村大字中山字古戸418番2			地積(㎡)	331	法令上の規制等						
	形状	敷地の利用の現況	周辺の土地の利用の状況	接面道路の状況	供給処理施設状況	主要な交通施設との接近の状況		都計外 (その他)						
	1:1.2	住宅W2	一般住宅、農家住宅のほか、店舗併用住宅が見られる住宅地域	西7.5m村道	水道、下水	中之条12km								
(2)近隣地域	範囲	東30m、西50m、南150m、北200m			標準的使用	戸建住宅地								
	標準的画地の形状等	間口約17m、奥行約20m、規模340㎡程度、形状長方形												
	地域的特性	特記事項	国道145号線背後至近の既成住宅地域	街路	基準方位北7.5m村道	交通施設	中之条駅北東方12km	法令規制	都計外					
地域要因の将来予測	一般住宅、農家住宅、併用住宅が見られる住宅地域。地域内唯一のスーパーが撤退したが、比較的早期に次が決まった。他の山間集落と比べ、比較的動きも見られることから、地価の下落幅も縮小傾向が予測される。													
(3)最有効使用の判定	戸建住宅地					(4)対象基準地の個別的要因	方位 +0.5							
(5)鑑定評価の手法の適用	取引事例比較法	比準価格			7,200 円/㎡									
	収益還元法	収益価格			/ 円/㎡									
	原価法	積算価格			/ 円/㎡									
	開発法	開発法による価格			/ 円/㎡									
(6)市場の特性	同一需給圏は高山村や中之条町の東部を中心とする住宅地域と把握した。需要者の中心は高山村及びその周辺市町在住の自己住居の取得を目的とした勤労者層が大半を占め、同一需給圏外からの転入者は少ない。高齢化、過疎化傾向にある村中心部の既成住宅地域であり、中之条町や東吾妻町の住宅地域との相対的な環境の良否による需要の二極化により需要は極めて低迷している。土地取引がほとんど見受けられないため、市場における中心価格帯の把握は困難である。													
(7)試算価格の調整・検証及び鑑定評価額の決定の理由	比準価格は類似性の高い複数の取引事例より比準して求められた実証的かつ客観的な価格である。郡部の戸建住宅を中心とする地域であり、賃貸市場は成立していないため、収益還元法は適用できなかった。よって、市場の実態を反映した比準価格を重視し、地価公示標準地との検討を踏まえ、鑑定評価額を上記のとおり決定した。													
(8)公示価格	代表標準地	標準地	時点修正	標準化補正	地域要因の比較	個別的要因の比較	対象基準地の規準価格(円/㎡)	内訳	標準化補正	街路	0.0	地域要因	街路	0.0
	標準地番号	東吾妻-2	[99.6]	100	100	[100.5]	7,190		環境	0.0	交通		+4.0	環境
	公示価格	12,000 円/㎡	100	[103.0]	[162.2]	100		画地	+3.0	行政	0.0	行政	0.0	
								その他	0.0	その他	0.0	その他	0.0	
(9)指定からの標準地	指定基準地番号		時点修正	標準化補正	地域要因の比較	個別的要因の比較	対象基準地の比準価格(円/㎡)	内訳	標準化補正	街路		地域要因	街路	
	前年指定基準地の価格	円/㎡	[]	100	100	[]			交通		環境			環境
			100	[]	[]	100		画地		行政		行政		
								その他		その他		その他		
(10)対年の標準価格の検討	-1 対象基準地の検討	継続 新規		価格変動要因	一般的 [要因] 吾妻郡東部の過疎化傾向の高い農山村地域。主要産業は農業だが、牧場、ゴルフ場、天文台等を擁し、観光業の振興が進められている。									
	前年標準価格	7,300 円/㎡			地域 [要因] 町外からの流入は少なく、人口減少や高齢化が顕著で、需要は低迷している。									
	-2 基準地が共通地点(代表標準地等と同一地点)である場合の検討	代表標準地 標準地			個別的 [要因] 個別的的要因に変動はない。									
	標準地番号	標準地												
	公示価格	円/㎡												
	変動率	年間	-1.4 %	半年間	%									